

将来にわたり皆が豊かで 幸せなまちをつくりたい

平成28年第1回町議会定例会が3月8日から11日まで開かれ、平成28年度予算案などが審議されました。

徳永町長が行った町政執行方針と、小林教育長の教育行政方針の概要をお知らせします。



平成28年度町政執行方針
町長 徳永 哲雄

一つの節目の年に 目指す方向を見据え 着実にまちづくり

町政をお預かりして15年が経過し、4期の4年目を迎えました。第5次総合計画の前期計画が終了し、後期計画策定の準備をする年であり、昨年末に策定した「てしかが・まち・ひと・しごと創生戦略」が本格的にスタートする年でもあります。今後「住民の福祉」のために、さらに地道で効率的な財政運営を進め、基幹産業である農業と観光を再

構築していきます。また、町民の医療・福祉・介護・子育て環境・教育環境の整備、防災・減災対策などを着実に実施するとともに、人口の「社会増減ゼロ」に向けたさまざまな取り組みを推し進め、創生戦略で掲げた2040年の人口6千人「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立した町」誰もが自慢し、誇れる、家族のような町を目指して、まい進していきます。

行政の総合力を最大限に発揮するため、役場全体が同じゴールに向かって「一体感」や「チーム」の意識を鼓舞し、弟子屈町民である「プライド」を持つてさまざまな課題に立ち向かっていきます。

町の最上位計画である第5次総合計画の後期計画策定に取り組み、町民が「豊かさ」「幸福感」を実感できるよう、既存の各事務事業を磨き上げ、精度を上げていきます。また、同計画の将来像の実現に向けて、既存の事務事業、新たな事務事業の目標や指標を明確にし、より実効性が高まるよう、計画・実行・評価・改善というPDCAを繰り返すとともに、施策・事務事業を着実に実行していきます。「てしかが・まち・ひと・しごと創生戦略」についてもPDCAサイクルで取り組み、それぞれの事務事業実施を効果的に進める一方で「公共施設マネジメント」を継続して進めていきます。

環 人と自然が共生 する



クリーンウォーク継続などで摩周湖の価値を高めた

自然環境の保全と活用

- ▼国立公園の名称変更に係る関係機関への要請活動の継続。
- ▼摩周湖における、長期的な保全を目的とした調査活動の継続。
- ▼「摩周湖クリーンウォーク」「摩周岳登山道維持管理」など、町民や関係機関団体との協働事業推進による、摩周湖の国立公園としての希少価値を高めていく取り組みの推進。
- ▼屈斜路湖における、湖水利用の問題点解消や、魚類などの自然資源の活用など、保全と活用の両立。
- ▼市街地の用途地域見直しによる、町全域の土地利用計画の策定。
- ▼地籍調査事業における地図情報のシステム化と、土地利用、土地取引の円滑化の推進。

循環型社会の構築

- ▼地熱開発における、事業化に向けた調査研究の推進。
- ▼省エネルギー活動の普及啓発の推進と、公共施設の省エネ行動計画の強化。
- ▼スプレー缶の分別回収と資源化処理の実施。

活 まちに活力・活気・ 雇用を生み出す

足腰の強い産業育成

- ▼国に対するPPP対策の要請と、農家支援のさまざまな方策の検討。
- ▼農業経営の維持・安定のための継続的な基盤整備、担い手育成・確保、今後の農業生産の在り方などへの対応。



ワイン醸造用ブドウの栽培をさらに増やして

- ▼耕畜連携による域内自給飼料の確保に向けた取り組みの推進。
- ▼チャンピオン牛導入元の鹿児島県日置市と本町の酪農家による、研修交流事業に対する支援。
- ▼新規就農した2戸に対する営農継続への支援。
- ▼農協との連携による農業実習生の受け入れ事業への支援。
- ▼家畜ふん尿の臭気低減に向けた取り組みの継続。
- ▼家畜伝染病の防疫対策の継続。
- ▼エゾシカによる農業被害対策の継続。
- ▼経営所得安定対策制度継続への要望の実施。
- ▼新たな作物導入による経営形態の見直しや輪作体系の確立。
- ▼摩周メロン、摩周そばなどのブランドの確立。
- ▼環境に配慮した土づくりに対する支援の継続。
- ▼弟子屈町産ブドウを使用したワインの特産品としての確立。
- ▼ワイン醸造用ブドウの栽培面積拡大と、地元醸造に向けた取り組みの推進。
- ▼道営土地改良事業による、町営牧場の草地整備や育成舎の新設などの実施。
- ▼草地畜産基盤整備事業の実施による粗飼料の高効率生産への取り組み。
- ▼町の森林整備計画に基づいた森



大切にしたい木育への取り組み

づくりの推進

- ▼国の補助事業などを活用した林業専用道整備や、町有林の多面的機能を発揮させるための町有林造林事業の継続実施。
- ▼林業多目的センターを活用した木育行事を実施するなど、木と森林・林業にふれあう機会の充実と林業の普及啓もうへの取り組み。
- ▼プレミアム商品券の発行などによる地元消費喚起への支援。
- ▼道の駅「摩周温泉」の充実と観光案内所活用による、観光客の町内での購買促進への取り組み。
- ▼中小企業振興条例の融資制度などによる安定経営や各種設備投資など、支援制度の活用促進。
- ▼道の駅全国大会の開催。
- ▼摩周湖観光協会、てしかがえこまち推進協議会など、住民主体の活

暮 誰もが安心して 暮らせる

保健医療体制の充実

- ▼摩周厚生病院での個別がん検診の導入。
- ▼特定健診の受診率向上への取り組み。
- ▼保健指導や健康教育の充実による生活習慣病の予防、健康寿命向上への取り組み。
- ▼新たに定期接種となる「日本脳炎予防接種」の円滑な実施。
- ▼各種予防接種費用助成の継続。
- ▼地域医療体制の強化と病院の安定的経営の確保。
- ▼摩周厚生病院への支援の継続。
- ▼摩周厚生病院、特別養護老人ホーム摩周、養護老人ホーム倅和園の円滑な連携の推進。
- ▼乳幼児・高校生の医療費実質無料化による、子育て世帯の負担軽減の実施。
- ▼国民健康保険、後期高齢者医療制度の適切な運営。

地域福祉の充実

- ▼老人ホームの充実と、地域交流ホール活用による、福祉と医療の連携の推進。
- ▼介護保険給付サービスの活用による、2017年度からの「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」を含む地域支援事業の準備。
- ▼要援護者台帳の充実と、関係機関との連携活用。
- ▼社会福祉協議会との連携による、高齢者の健康保持と生きがいのある生活援助の推進。
- ▼「障害者総合支援法」の適正な運用と、福祉用具の給付や相談支援などの各種サービスの継続。
- ▼「第4期障がい福祉計画」の安定的な制度実施。



老人ホームのさらなる充実を

子育て支援

- ▼特定不妊治療費助成事業の実施。
- ▼妊婦健診費用の助成拡充。
- ▼保育園や幼稚園の利用者負担の助成の継続。
- ▼「認定こども園」を含めた幼稚園と保育園の将来像決定に向けた関係機関での協議実施。
- ▼こども発達支援センターにおける指導と支援の充実。
- ▼子育て支援センターにおける、未就学児がいる家庭への訪問支援の充実と育児支援の推進。
- ▼放課後児童クラブにおける働く保護者の支援、利用児童の安全・健康の確保と社会性や自主性の向上への取り組み。

生活基盤の向上

- ▼石綿管改修と検定満了水道メーター器などの工事による維持・管理体制の強化と、安全、安心な水道水の供給。
- ▼老朽化した管路の布設替えによる温泉の安定供給。
- ▼摩周・鋸別地区での下水道工事の実施。
- ▼機械計装設備の更新による弟子屈浄化センター施設の高寿命化。
- ▼下水道未普及地域における整備手法についての検討。
- ▼公営住宅3棟12戸の建設。
- ▼みはらし台団地3号棟の給排水設備の改修・北側壁断熱の補強、

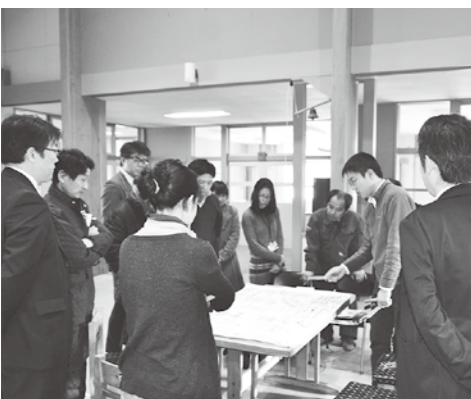
- ▼学校や家庭、地域住民が連携・協力して積極的に教育に関わる体制づくりの推進。

文化・スポーツ活動の推進

- ▼文化、体育協会などの活動支援や、子どもたちの全道・全国大会出場への助成の継続。
- ▼子どもたちが、ふるさとに対する愛着や誇りの心を育むことができ、さまざまな学習機会の提供。
- ▼アイヌの人々の歴史や文化に関する知識の普及・啓発。
- ▼文化財の保存・活用など歴史・文化を生かした地域づくりの推進。

人 興味と関心を持ち、行動する人を育てる

- ▼人材育成・人づくり・人材の確保
- ▼地域の魅力を高める人材育成への取り組み。



南弟子屈の地域づくりを考える

- ▼「ふるさとづくり人材育成事業」の充実・強化による、地域の担い手として活躍できる人材や、多様化するまちづくりに資する人材の育成。

まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

- ▼「人材バンク」による、地域づくり人材のネットワーク化と、人材の情報交換ができる仕組みづくり。
- ▼道の駅5周年記念に合わせた「日置市物産展」の実施。
- ▼玉川学園との包括的な連携強化。

公 誰でもまちづくりに参加することができる

- ▼旧昭栄小学校の跡地利用を含めた、南弟子屈地域の地域づくりの推進。
- ▼国の指針に基づいた、男女共同参画の計画策定。

時代に即し、透明性の高い行政運営

- ▼広報てしかが、町公式ウェブサイト、インターネットメールなどを活用した、町民向けの町政に関する情報提供の充実と、情報共有推進による、町民がまちづくりに参加しやすい環境づくり。



交通安全運動を推進(旗の波街頭啓発)

サッシの高断熱化などを含めた長寿命化改善工事、浴室ユニットバス化などの住環境の改善工事、物置の改築の実施。

- ▼住宅建設促進事業継続による民間住宅の新築・リフォーム支援。
- ▼自治会、各種団体との連携・協力による花いっぱい運動の推進。
- ▼水郷公園などのLED化や、湯の島公園ロックガーデン改修事業などによる公園の長寿命化の実施。
- ▼町道奥春別団地線、鋸別西5号線、泉町7号線の改良・舗装工事、鋸別43線の防雪柵新設工事の継続。
- ▼南弟子屈橋の改修など、既存橋りょう修繕の計画的な推進。

安全・安心の確保

- ▼倒壊等の恐れがある空き家除却に伴うさまざまな障がいへの解消。
- ▼弟子屈警察署や各関係機関・自治



より効果的な行政情報の提供と町政への民意の反映を目指す

- ▼タウンメール、ウェブ版タウンメール、町民アンケート、町政懇談会、自治会総会などから得た意見の、町政運営への反映。
- ▼地方公務員法改正による町職員人事評価制度の運用開始。
- ▼各種研修制度を活用した、町職員の資質向上への取り組み。
- ▼労働安全衛生法の改正に伴う、町職員のストレスチェックの導入。
- ▼各種滞納処分強化による、さらなる税収の確保。
- ▼税金のクレジット収納運用に向けた準備。

今年度は、私の任期の最終年です。将来にわたって町民の皆さんが「豊かで幸せなまち」を実感できるように、全力で取り組みます。

育 豊かな心を育て、文化を大切に

- ▼総合教育会議による、教育に係る諸施策の展開。
- ▼小・中学校、高等学校のさらなる連携による、ふるさと教育、キャリア教育の推進。
- ▼弟子屈高校存続へ向けた働きかけの継続。

社会教育活動の推進

- ▼町公民館開館50周年記念事業の実施。

平成28年度 予算のポイント

平成28年度一般会計予算は総額77億7千500万円で、前年度比0.8%の増額、国民健康保険特別会計など6つの特別会計の合計額は31億6千196万1千円で、前年度比2.6%の減額となっています。

国の地方財政計画では、昨年6月に閣議決定された経済財政運営と、改革の基本方針2015に基づく地方一般財源が前年度並みとなっています。本町の一般会計の歳入は、地方交付税をほぼ前年度並みで見込みつつ、歳出の増加に伴い財源不足が生じたことから、一部基金からの繰り入れを計上しています。歳出では、弟子屈消防署の移転改築に伴う負担金などを計上して、ほぼ前年度並みの予算額となっています。

今後、経済情勢や国の制度、有利な起債などを活用して、健全な財政運営に努めていきます。平成28年度予算の概要については、今月の広報紙に折り込まれている「てしかが町知って得する便利帳」を参照ください。